

- 1 電話網から IP 網への円滑な移行について、「固定電話網の円滑な移行の在り方」（平成 29 年 3 月 28 日情報通信審議会答申）を踏まえ、利用者保護や関係事業者への影響を十分に勘案した推進策やスケジュールを明確化するなど、引き続き具体的取組を推進すること。

- 2 「光コラボレーションモデル」について、引き続き公正な競争環境の確保や利用者利益の保護に取り組み、様々な分野の事業者との連携を通じて FTTH の利用が促進され、新たなサービスが創出されるよう努めること。

- 3 IoT・ビッグデータ・AI の進展を踏まえ、深刻化するサイバーセキュリティへの脅威に適切に対処するとともに、データ流通量の増大や多様なサービスの円滑な提供に対応できる情報通信ネットワークの高度化について先導的な役割を果たすよう努めること。